

令和2年度第1回宮城県救急医療協議会会議録

■日 時：令和2年10月29日（木）午後3時から午後3時40分まで

■場 所：県庁4階 特別会議室

■出席委員：12名（佐藤和宏委員，久志本成樹委員，枝幸基委員，上之原広司委員，入野田崇委員，小林道生委員，野村亮介委員，今井克忠委員，茂泉善政委員，尾形秀一委員，木村伸裕委員，堀江和巳委員）

■欠席委員：4名（登米裕也委員，亀山元信委員，岩館敏晴委員，荒井勲委員）

■開会

○ 進行より，新任委員の紹介，出席者の紹介，資料の確認及び定足数，Web会議実施の報告等。

■議事要旨

（1）第7次宮城県地域医療計画の中間見直しについて

○事務局 [資料1] 及び [資料2] により説明。

○上之原委員

救急及び災害の両方に関わる話だが，新型コロナウイルス感染症の件に関して見直しでは言及しないというような説明だった。災害の方で我々の病院にDMAT要請がかかり出動した経緯があるので，災害に関しても今回の感染症については，今後考えていくという整理でよいか。

○事務局

全体的には次の8次計画の中で対応していきたいと思っているが，現在の計画期間の残りの期間においては，現場の状況なども把握しながら，8次計画の改正に繋がるように対応していきたい。

（2）救急医療施策の見直しについて

○事務局 [資料3] により説明。

○上之原委員

施設間の搬送で下り搬送に救急車を使うことに限界があり，病院や民間の救急で民間の搬送を導入していかないと難しいと思う。

現在コロナの状況下で，なかなか民間の救急が追いつかないというようなことが起きていて，おそらくこの状態はある程度続くと思うが，この辺りを県の立場で，ぜひ整備していただきたい。

○事務局

状況把握に努めていきたい。

ご指摘どおり，現在は新型コロナウイルス感染症患者の搬送で民間救急を活用しており，かなり混み合っているような状況かと思う。他の同様の機能が担える事業者等についても把握に努めつつ，実情をしっかりと掴んでいきたいと思う。

（3）救急搬送実施基準の改正（案）について

○事務局（消防課） [資料4] により説明。

○佐藤会長

今の事務局からの提案でよろしいか。（異議なし）

■報告要旨

（1）宮城県救急医療情報システムの見直しについて

○事務局 [資料5] により説明。

（2）宮城県救急搬送情報共有システムの運用状況について

○事務局 [資料6] により説明。

■閉会